

意義

急性肺炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施状況を把握する。

指標の定義・算出方法

- ・必要データセット：DPC様式1、EFファイル
- ・分子：入院3日以内に経腸栄養（鼻腔栄養により定義）を実施された症例
- ・分母：急性肺炎で入院し退院した中等症から重症例（軽症例を除く）
- ・分子÷分母（単位：パーセント）

分母の定義

- 解析期間に退院した症例を対象とする
- このうち、もっとも資源を投入した傷病および入院の契機となった傷病名に下記のICD-10コードが該当すれば対象とする（疑い病名は除く）。

ICD-10コード	病名
K85	急性肺炎

- このうち、軽症肺炎は除外する。

様式1の急性すい炎の重症度分類（A. 予後因子合計点数、B. 造影剤CT重症度スコア合計点数）について、Aが3~9、あるいはBが2~4で記載されている場合に中等症から重症の症例として分母の症例とする。ただし、AとBが両方とも9「99」で入力されている症例は不明例として除外する。

分子の定義

- 入院から3日以内に経腸栄養が実施されている症例
入院から3日以内に J120 「鼻腔栄養」の算定があるもの

レセ電コード	行為名称
140023210	鼻腔栄養

測定上の限界・解釈上の注意

早期の経腸栄養（EN）は 感染症合併率を軽減させるとして推奨されているが、一方で、経口摂取の再開により肺炎が再開する場合もあり早期から経口摂取が開始されている症例は軽症例であると考えられる。このため、本指標は当初、食事療養がされている症例について除外していたが、流動栄養剤を食事として算定すると考えられ、2016年1月に定義の改訂を行い、様式1の重症度を用いて軽症症例を除外することにした。

レセ電コード	行為名称
197000110	入院時食事療養（1）
197000710	入院時食事療養（2）

胃管からのENが十二指腸を超えた部分でのENと同等に安全であるかは明確にはされていないが、ガイドライン上薦められているENを積極的に行っている病院では、十二指腸以遠での栄養が行われていることが予想される。

〈参考〉J120 鼻腔栄養に関連する栄養処置に関する通知（抜粋）：

患者が経口摂取不能のため、薬価基準に収載されている高カロリー薬を経鼻経管的に投与した場合は鼻腔栄養の所定点数及び薬剤料を算定し、食事療養に係る費用又は生活療養の食事の提供たる療養に係る費用及び投薬料は別に算定しない。患者が経口摂取不能のため、薬価基準に収載されていない流動食を提供した場合は、鼻腔栄養の所定点数及び食事療養に係る費用又は生活療養の食事の提供たる療養に係る費用を算定する。この場合において、当該保険医療機関が入院時食事療養（I）又は入院時生活療養（I）の届出を行っているときは入院時食事療養（I）又は入院時生活療養（I）の食事の提供たる療養に係る費用を、さらに、特別食の算定要件を満たしているときは特別食の加算をそれぞれ算定する。

考察

最小値0 25%値0 中央値0 75%値0 最大値17%

重症例においては、早期からの経腸栄養は感染合併症の発生率を低下させ、入院期間の短縮や医療費の軽減にも役立つとして推奨度Bとされていますが、実施されていたのは、2014年は2病院、2015年は1病院のみでした。症例数の最大値は14例で、続いて13例が1病院あるほかは年間症例数は10未満でした。そもそも重症例が少ないことと、それほど知られていないなどの理由が考えられます。

参考資料

急性肺炎診療ガイドライン2010「第3版」

重症度の判定は、様式1のデータ「急性肺炎の重症度判定基準（2008年改訂）」に沿う

- 予後因子 0~9 3点以上を重症、2点以下を軽症と判定
- 造影CT Grade 0~4 造影CT Grade 2(2点)以上を重症、Grade 1以下を軽症と判定します

指標15：急性膵炎の早期経腸栄養実施割合

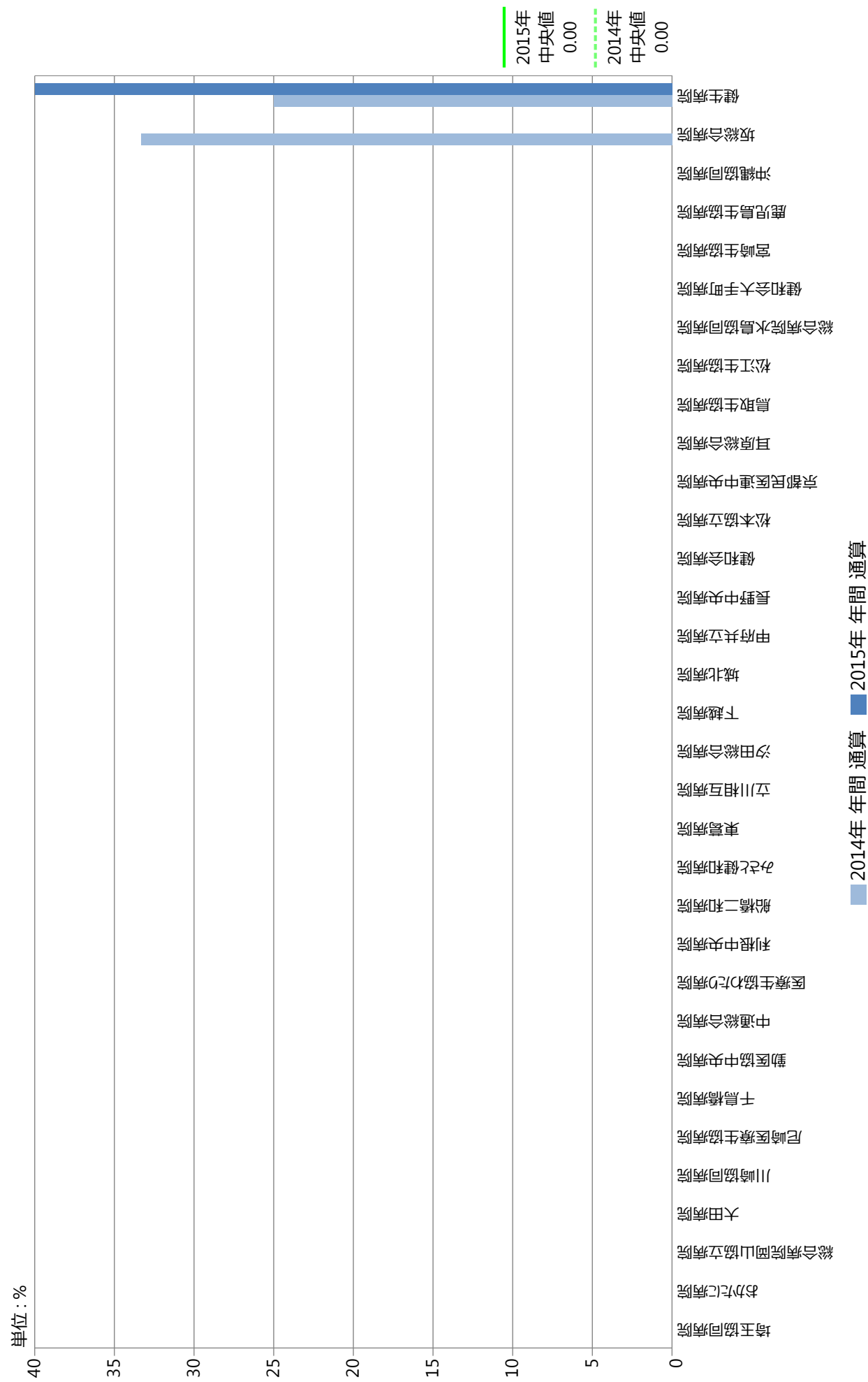
指標15分母：急性膵炎で入院し退院した中等症から重症例（軽症例を除く）

指標15分子：入院3日以内に経腸栄養（鼻腔栄養により定義）を実施された症例

指標15：急性膵炎の早期経腸栄養実施割合

	指標15分母		指標15分子		指標15	
	件		件		%	
	2014年 年間	2015年 年間	2014年 年間	2015年 年間	2014年 年間	2015年 年間
勤医協中央病院	16	14	0	0	0.00	0.00
釧路協立病院	—	0	—	0	—	—
あおもり協立病院	0	0	0	0	—	—
健生病院	8	5	2	2	25.00	40.00
坂総合病院	3	2	1	0	33.33	0.00
泉病院	0	0	0	0	—	—
中通総合病院	4	2	0	0	0.00	0.00
医療生協わたり病院	1	2	0	0	0.00	0.00
利根中央病院	1	3	0	0	0.00	0.00
埼玉協同病院	4	0	0	0	0.00	—
埼玉西協同病院	—	0	—	0	—	—
船橋二和病院	4	5	0	0	0.00	0.00
みさと健和病院	6	8	0	0	0.00	0.00
小豆沢病院	—	0	—	0	—	—
大田病院	0	2	0	0	—	0.00
東葛病院	2	5	0	0	0.00	0.00
立川相互病院	1	5	0	0	0.00	0.00
川崎協同病院	—	1	—	0	—	0.00
汐田総合病院	6	2	0	0	0.00	0.00
下越病院	8	7	0	0	0.00	0.00
城北病院	2	2	0	0	0.00	0.00
甲府共立病院	12	13	0	0	0.00	0.00
長野中央病院	2	6	0	0	0.00	0.00
健和会病院	1	1	0	0	0.00	0.00
諏訪共立病院	—	0	—	0	—	—
松本協立病院	3	2	0	0	0.00	0.00
みどり病院	0	0	0	0	—	—
京都民医連中央病院	4	3	0	0	0.00	0.00
耳原総合病院	7	5	0	0	0.00	0.00
尼崎医療生協病院	0	1	0	0	—	0.00
おかたに病院	2	0	0	0	0.00	—
和歌山生協病院	0	0	0	0	—	—
鳥取生協病院	4	6	0	0	0.00	0.00
松江生協病院	1	3	0	0	0.00	0.00
総合病院水島協同病院	1	3	0	0	0.00	0.00
玉島協同病院	—	0	—	0	—	—
総合病院岡山協立病院	2	0	0	0	0.00	—
広島共立病院	0	0	0	0	—	—
宇部協立病院	0	0	0	0	—	—
健和会大手町病院	8	9	0	0	0.00	0.00
千鳥橋病院	0	4	0	0	—	0.00
上戸町病院	0	0	0	0	—	—
宮崎生協病院	1	1	0	0	0.00	0.00
鹿児島生協病院	2	6	0	0	0.00	0.00
沖縄協同病院	13	9	0	0	0.00	0.00
中部協同病院	0	0	0	0	—	—
最大値	16.00	14.00	2.00	2.00	33.33	40.00
75%値	4.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
中央値	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
25%値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
最小値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

指標15：急性膵炎の早期経腸栄養実施割合



指標15：急性膵炎の早期経腸栄養実施割合

